

令和3年度ネットリサーチ「いばらきアマビエちゃん（2回目）」に関するアンケート結果報告書

■結果のポイント

- 「いばらきアマビエちゃん」の認知度については、「名前も内容も知っている」（45.9%）、「名前だけは知っている（内容はよく分からない）」（43.1%）を合わせた【知っている】は89.0%となっている。
- 「いばらきアマビエちゃん」を「知っている」と回答した方に、「いばらきアマビエちゃん」の利用者登録について聞いたところ、「ほぼ毎回『利用者登録』を行っている」が9.1%、「たまに『利用者登録』を行っている」が27.8%となっている。
- 重要視する飲食店の感染対策については、「従業員がマスクをしている」が58.9%で最も高く、次いで「手指消毒が徹底されている（アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど）」が57.1%と続く。

■調査結果の概要

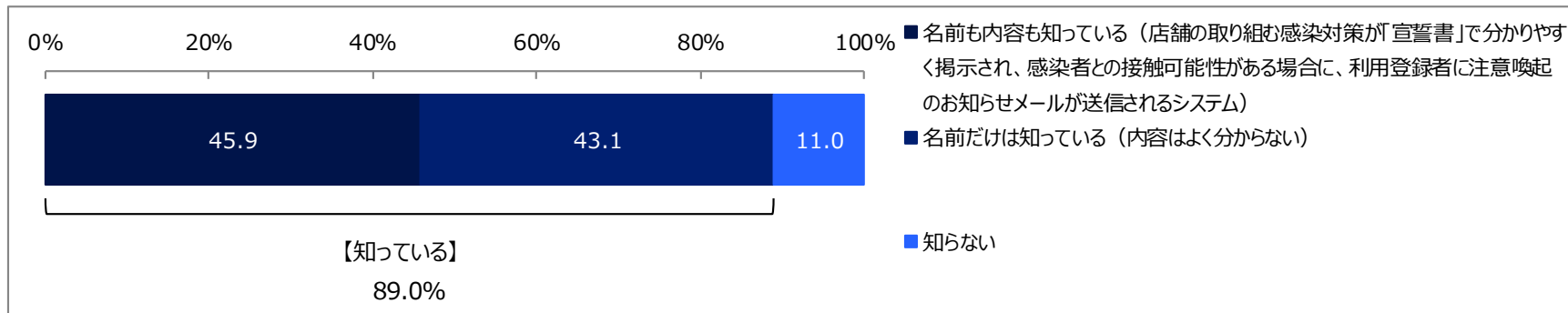
1 「いばらきアマビエちゃん」の認知度

◇ 「名前も内容も知っている」（45.9%）、「名前だけは知っている（内容はよく分からない）」（43.1%）を合わせた【知っている】は89.0%となっている。

Q1.あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的として県が導入した「いばらきアマビエちゃん」を知っていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
名前も内容も知っている（店舗の取り組む感染対策が「宣誓書」で分かりやすく掲示され、感染者との接触可能性がある場合に、利用登録者に注意喚起のお知らせメールが送信されるシステム）	45.9	459
名前だけは知っている（内容はよく分からない）	43.1	431
知らない	11.0	110



2 「いばらきアマビエちゃん」の認知経路

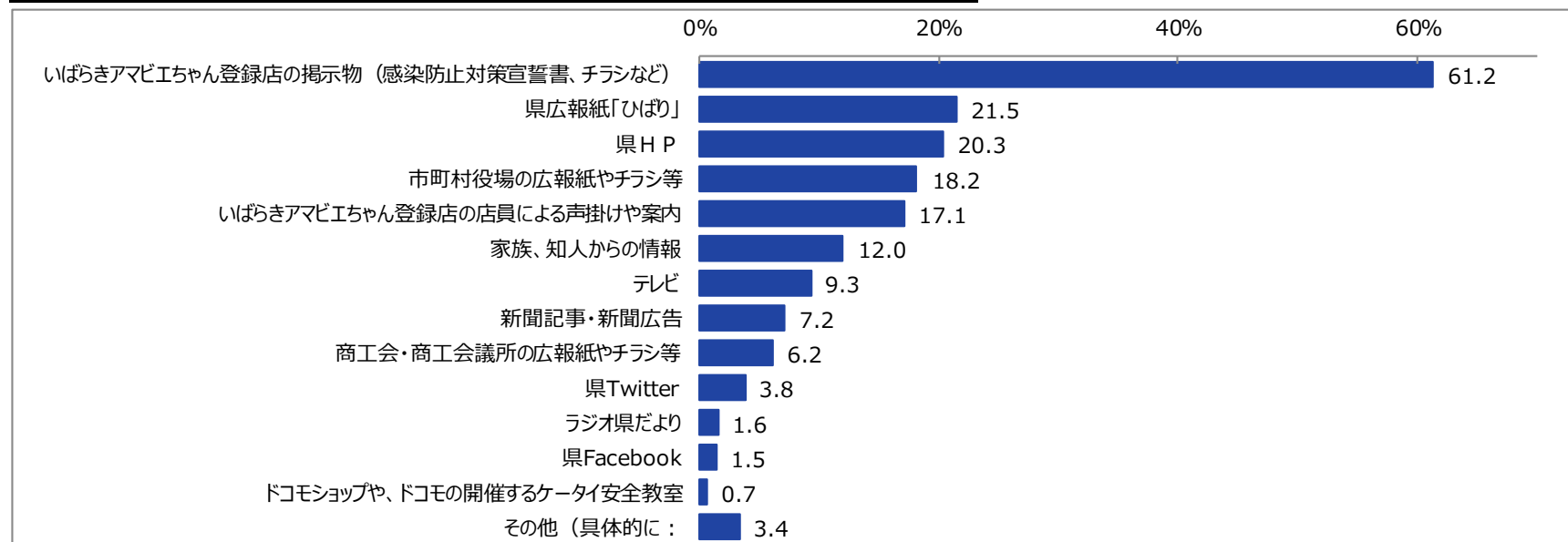
☆ 「いばらきアマビエちゃん登録店の掲示物（感染防止対策宣誓書、チラシなど）」が61.2%で最も高く、次いで「県広報紙『ひばり』」が21.5%、「県HP」が20.3%と続く。

（Q1で「1.名前も内容も知っている」「2.名前だけは知っている」と回答された方へ）

Q2.あなたは、「いばらきアマビエちゃん」をどこで知りましたか。あてはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	890
いばらきアマビエちゃん登録店の掲示物（感染防止対策宣誓書、チラシなど）	61.2	545
県広報紙「ひばり」	21.5	191
県HP	20.3	181
市町村役場の広報紙やチラシ等	18.2	162
いばらきアマビエちゃん登録店の店員による声掛けや案内	17.1	152
家族、知人からの情報	12.0	107
テレビ	9.3	83
新聞記事・新聞広告	7.2	64
商工会・商工会議所の広報紙やチラシ等	6.2	55
県Twitter	3.8	34
ラジオ県だより	1.6	14
県Facebook	1.5	13
ドコモショップや、ドコモの開催するケータイ安全教室	0.7	6
その他（具体的に：	3.4	30



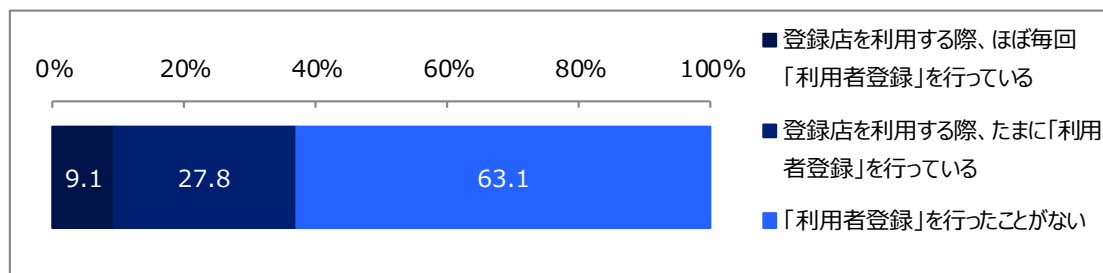
3 「いばらきアマビエちゃん」の利用者登録

◇ 「ほぼ毎回『利用者登録』を行っている」が9.1%、「たまに『利用者登録』を行っている」が27.8%となっている。

Q3.あなたは、「いばらきアマビエちゃん」の登録店で利用者登録をしていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	890
登録店を利用する際、ほぼ毎回「利用者登録」を行っている	9.1	81
登録店を利用する際、たまに「利用者登録」を行っている	27.8	247
「利用者登録」を行ったことがない	63.1	562



4 登録事業所であることを気にするか

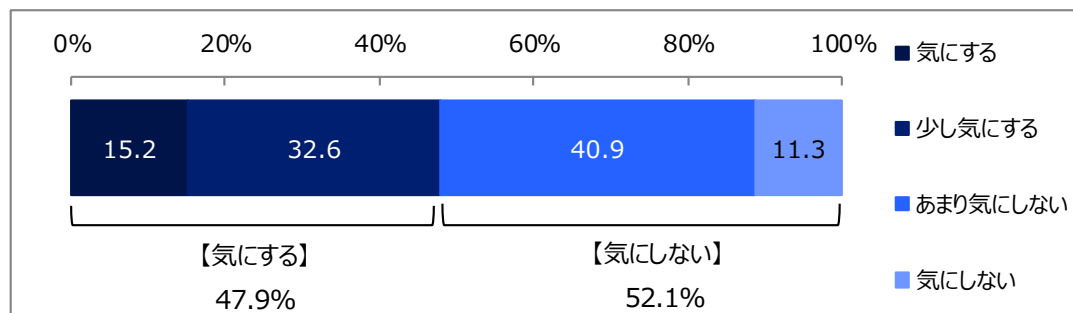
◇ 「気にする」(15.2%)、「少し気にする」(32.6%)を合わせた【気にする】は、47.9%となっている。

(Q3で「1.登録店を利用する際、ほぼ毎回「利用者登録」を行っている」「2.登録店を利用する際、たまに「利用者登録」を行っている」と回答された方へ)

Q4.お店を選ぶ際に、「いばらきアマビエちゃん」登録事業所であること（感染防止対策をしていること）は気にしますか。

SA

	%	n
全体	100.0	328
気にする	15.2	50
少し気にする	32.6	107
あまり気にしない	40.9	134
気にしない	11.3	37



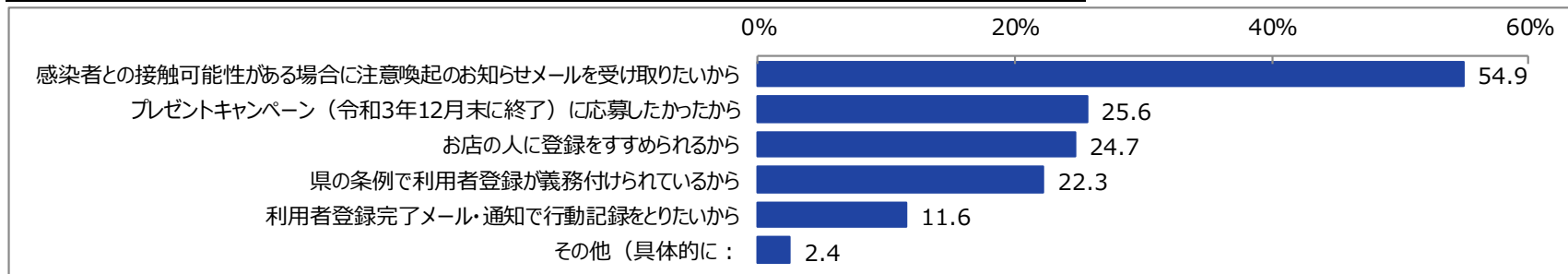
5 利用者登録をする理由

- ◇ 「感染者との接触可能性がある場合に注意喚起のお知らせメールを受け取りたいから」が54.9%で最も高く、続いて「プレゼントキャンペーン（令和3年12月末に終了）に応募したかったから」が25.6%と続く。

Q5.あなたが、利用者登録をする理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	328
感染者との接触可能性がある場合に注意喚起のお知らせメールを受け取りたいから	54.9	180
プレゼントキャンペーン（令和3年12月末に終了）に応募したかったから	25.6	84
お店の人に登録をすすめられるから	24.7	81
県の条例で利用者登録が義務付けられているから	22.3	73
利用者登録完了メール・通知で行動記録をとりたいから	11.6	38
その他（具体的に：	2.4	8



6 利用者登録をしない理由

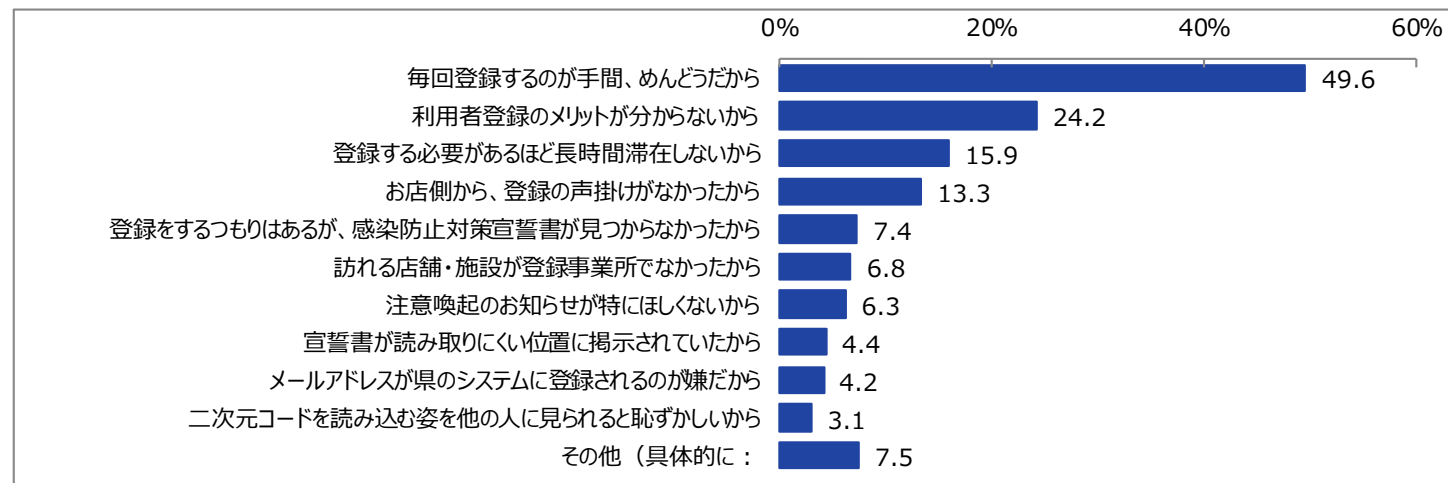
☆ 「毎回登録するのが手間、めんどうだから」が49.6%で最も高く、次いで「利用者登録のメリットが分からないから」が24.2%と続く。

(Q3で「2.登録店を利用する際、たまに「利用者登録」を行っている」または「3.「利用者登録」を行ったことがない」と回答された方へ)

Q6.あなたが、利用者登録をしない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	809
毎回登録するのが手間、めんどうだから	49.6	401
利用者登録のメリットが分からないから	24.2	196
登録する必要があるほど長時間滞在しないから	15.9	129
お店側から、登録の声掛けがなかったから	13.3	108
登録をするつもりはあるが、感染防止対策宣誓書が見つからなかったから	7.4	60
訪れる店舗・施設が登録事業所でなかったから	6.8	55
注意喚起のお知らせが特にほしくないから	6.3	51
宣誓書が読み取りにくい位置に掲示されていたから	4.4	36
メールアドレスが県のシステムに登録されるのが嫌だから	4.2	34
二次元コードを読み込む姿を他の人に見られると恥ずかしいから	3.1	25
その他（具体的に：	7.5	61



7 スマートフォン用アプリの利用

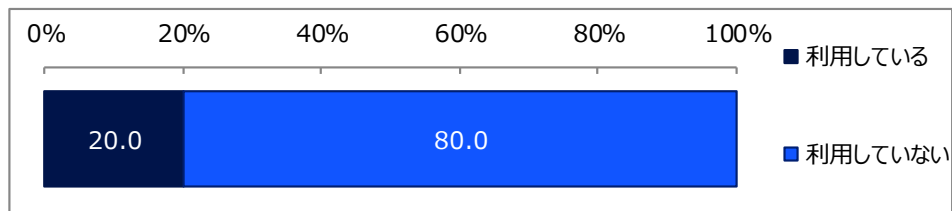
◇ 「利用している」が20.0%、「利用していない」が80.0%となっている。

(SC3で「1.スマートフォンを持っている」と回答された方へ)

Q7.あなたは、スマートフォン用アプリ「いばらきアマビエちゃん」を利用していますか。

SA

	%	n
全体	100.0	850
利用している	20.0	170
利用していない	80.0	680



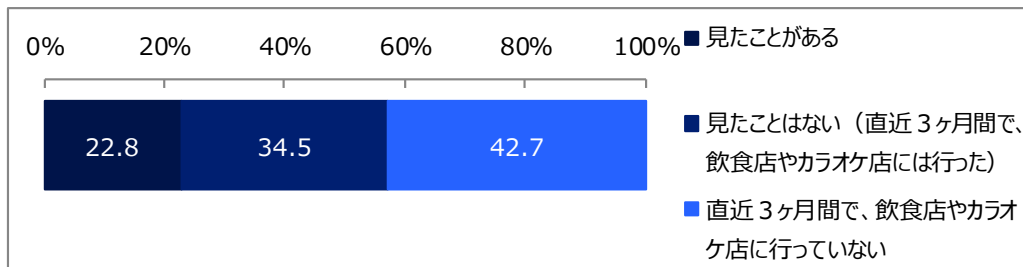
8 「感染防止対策確認済店」ステッカーの認知度

◇ 「見たことがある」が22.8%となっている。

Q8.茨城県では、感染対策状況を確認できたアマビエちゃん登録店舗（飲食店等）に対し、下記のステッカーを配布していますが、あなたはこのステッカーを見たことがありますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
見たことがある	22.8	228
見たことはない（直近3ヶ月間で、飲食店やカラオケ店には行った）	34.5	345
直近3ヶ月間で、飲食店やカラオケ店に行っていない	42.7	427



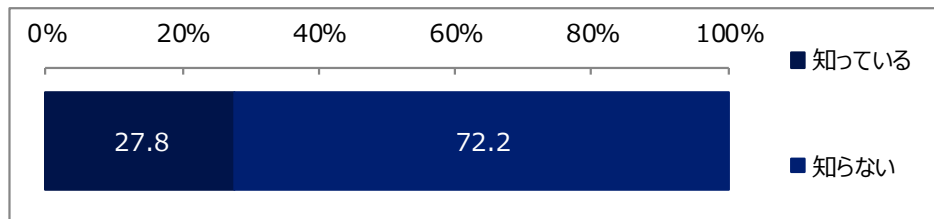
9 「新型コロナ経済両立条例」の認知度

◇ 「知っている」が27.8%、「知らない」が72.2%となっている。

Q9.あなたは、令和2年10月2日に施行された「茨城県新型コロナウイルス感染症の発生の予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例」を知っていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
知っている	27.8	278
知らない	72.2	722



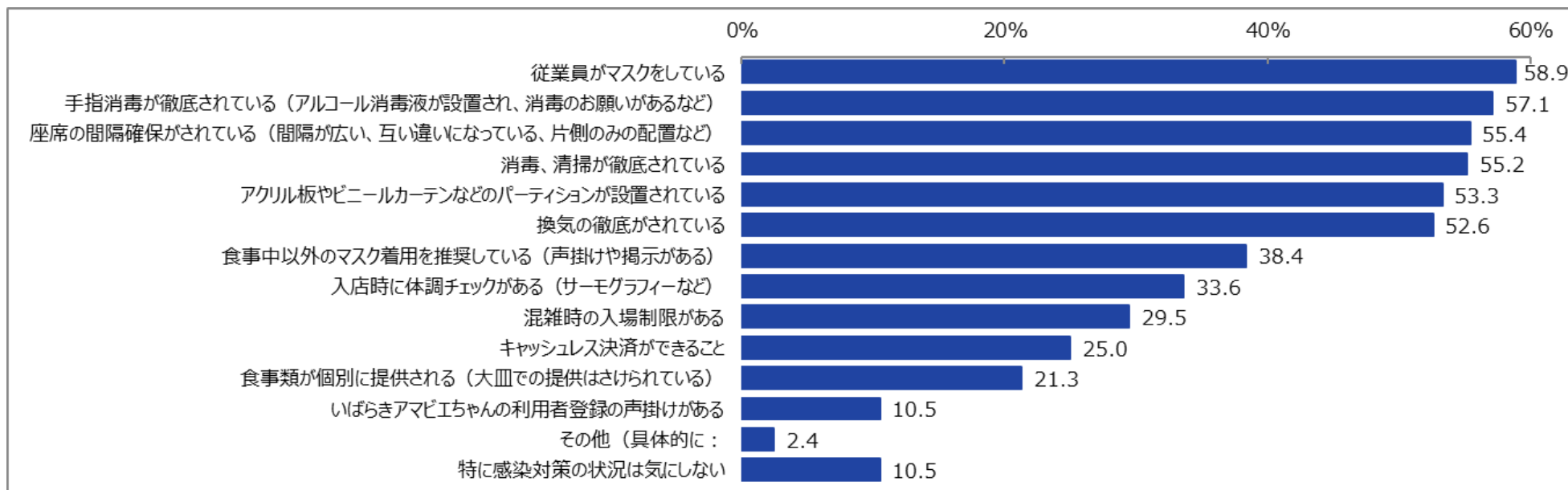
10 重要視する飲食店の感染対策

◇ 「従業員がマスクをしている」が58.9%で最も高く、次いで「手指消毒が徹底されている（アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど）」が57.1%と続く。

Q10.コロナ禍において、あなたが飲食店を利用する際に、重要視する飲食店の感染対策はなんですか。あてはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
従業員がマスクをしている	58.9	589
手指消毒が徹底されている（アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど）	57.1	571
座席の間隔確保がされている（間隔が広い、互い違いになっている、片側のみの配置など）	55.4	554
消毒、清掃が徹底されている	55.2	552
アクリル板やビニールカーテンなどのパーティションが設置されている	53.3	533
換気の徹底がされている	52.6	526
食事中以外のマスク着用を推奨している（声掛けや掲示がある）	38.4	384
入店時に体調チェックがある（サーモグラフィーなど）	33.6	336
混雑時の入場制限がある	29.5	295
キャッシュレス決済ができること	25.0	250
食事類が個別に提供される（大皿での提供はさげられている）	21.3	213
いばらきアマビエちゃんの利用者登録の声掛けがある	10.5	105
その他（具体的に：	2.4	24
特に感染対策の状況は気にしない	10.5	105



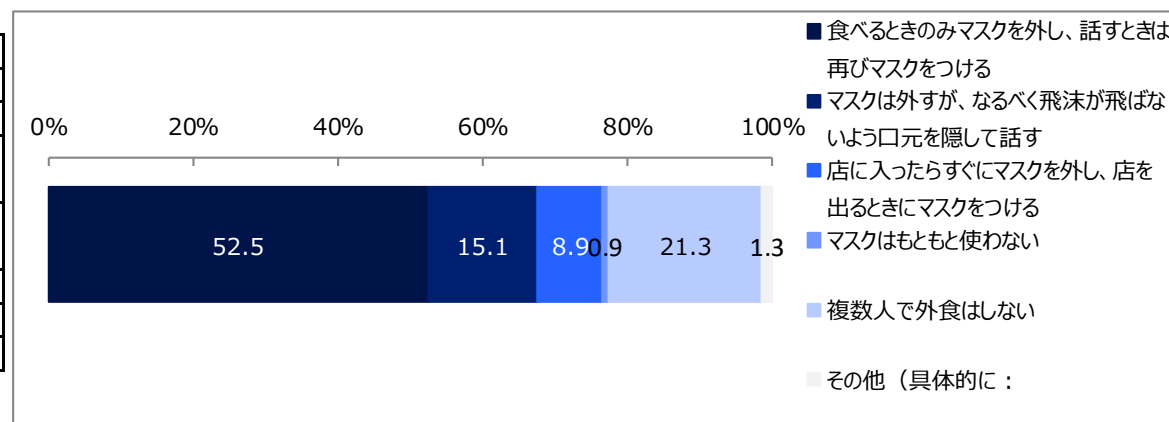
11 マスクの着用状況

☆ 「食するときのみマスクを外し、話すときは再びマスクをつける」が52.5%で最も高い。

Q11.複数人で外食をする際の、あなたのマスクの着用状況について、最もあてはまるもの一つを選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
食するときのみマスクを外し、話すときは再びマスクをつける	52.5	525
マスクは外すが、なるべく飛沫が飛ばないように口元を隠して話す	15.1	151
店に入ったらずきにマスクを外し、店を出るときにマスクをつける	8.9	89
マスクはもともと使わない	0.9	9
複数人で外食はしない	21.3	213
その他（具体的に：	1.3	13



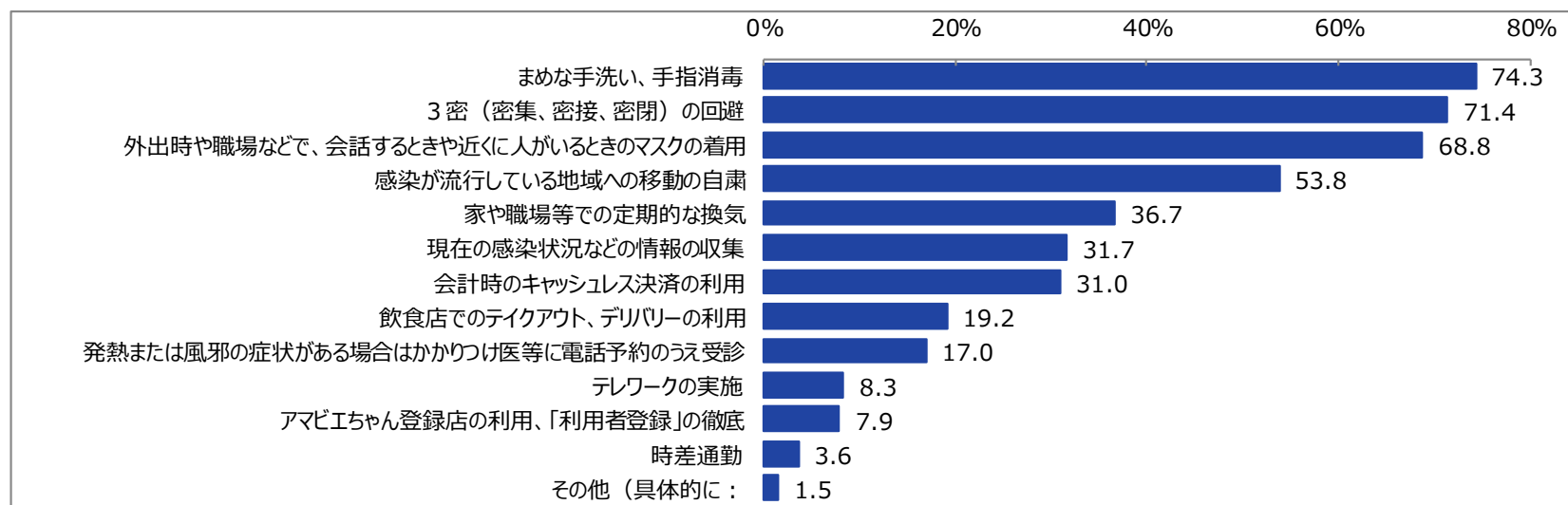
12 日常の感染対策

◇ 「まめな手洗い、手指消毒」が74.3%で最も高く、次いで「3密（密集、密接、密閉）の回避」が71.4%、「外出時や職場などで、会話するときや近くに人がいるときのマスクの着用」が68.8%と続く。

Q12.あなたが日常で心掛けている感染対策について、当てはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
まめな手洗い、手指消毒	74.3	743
3密（密集、密接、密閉）の回避	71.4	714
外出時や職場などで、会話するときや近くに人がいるときのマスクの着用	68.8	688
感染が流行している地域への移動の自粛	53.8	538
家や職場等での定期的な換気	36.7	367
現在の感染状況などの情報の収集	31.7	317
会計時のキャッシュレス決済の利用	31.0	310
飲食店でのテイクアウト、デリバリーの利用	19.2	192
発熱または風邪の症状がある場合はかかりつけ医等に電話予約のうえ受診	17.0	170
テレワークの実施	8.3	83
アマビエちゃん登録店の利用、「利用者登録」の徹底	7.9	79
時差通勤	3.6	36
その他（具体的に）	1.5	15



■調査の目的

新型コロナウイルス感染症対策として令和2年6月から県が運用している「いばらきアマビエちゃん」について、更なる利用促進を図るため、認知度や利用状況を把握し、今後の広報活動や施策展開の参考とする。

■実施概要

- ・実施期間 令和4年1月19日～1月26日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和3年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		116	246	96	353	189	1,000
性別	男性	60	125	51	181	99	516
	女性	56	121	45	172	90	484
年代別	18～29歳	18	42	17	66	33	176
	30歳代	17	43	17	62	31	170
	40歳代	24	57	21	83	42	227
	50歳代	27	53	19	72	39	210
	60歳代	30	51	22	70	44	217

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。